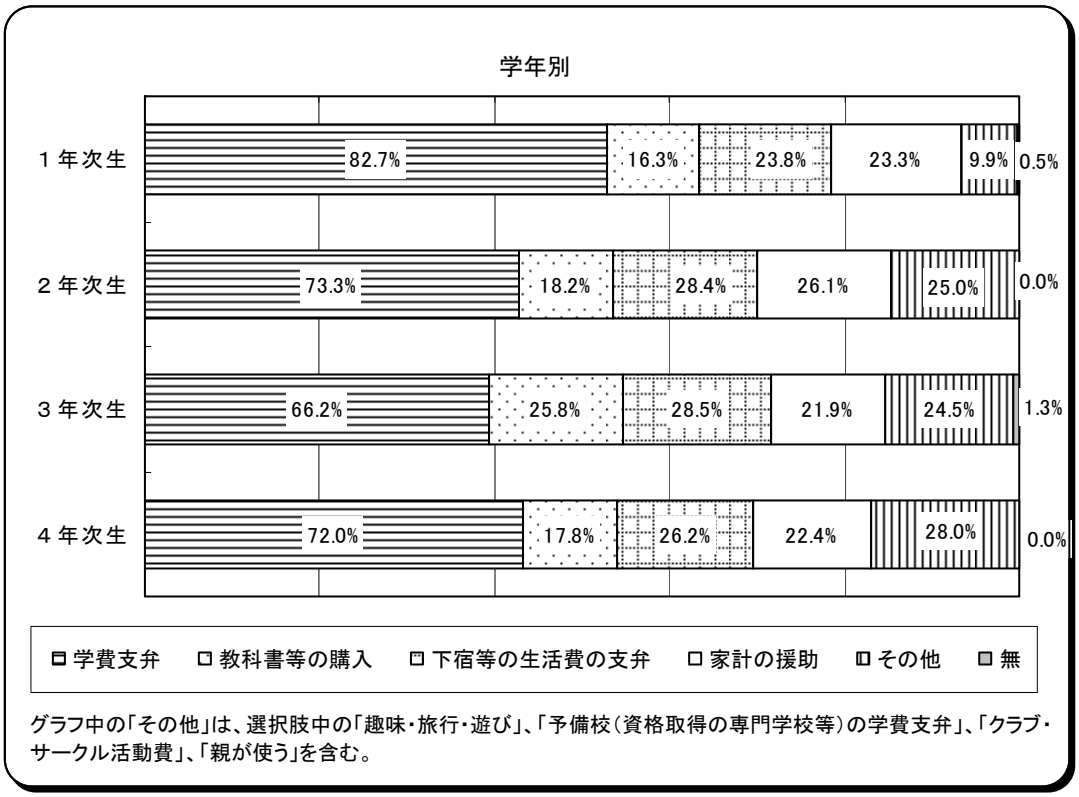
奨学金の使途

問12　問11で「受けている」と回答した方にのみうかがいます。奨学金の主な使い道は何ですか。２つまで選んでください。



学年が上がるにつれて多様化する使途

問11において、本学の約4割の学生が何らかの奨学金を受けていることがわかったが、その用途は何なのか。問12では、「学費支弁」や「教科書等の購入」など「その他」を含めて9つの選択肢を用意して2つまで選んで答えてもらった。

上のグラフは、調査結果を学年毎に集計したものである。

奨学金制度は、基本的に学資金の支援を目的としているが、各学年でトップの用途となっているのが「学費支弁」であったのは必然といえる。ただし、各学年でそのウエイトは微妙に異なる。特に1年次生では82.7％であったが、3年次生になると66.2％まで落ち込む。3年次生は「教科書等の購入」が25.8％となっており各学年の中ではトップとなる。3年次になり専門教育科目の履修も増え、学費のみならず教科書代を捻出する必要が高まった結果であると思われる。

また、特徴的なこととして、1年次生から4年次生に学年が上がるにつれ、「その他」の割合が高くなっている。「その他」の中には「趣味・旅行・遊び」、「予備校（資格取得の専門学校等）の学費支弁」、「クラブ・サークル活動費」が含まれているが、学年が上がるにつれ学生生活も多様化し、使途も多岐に及んでいることが見て取れる。